

事業所名

パスレル

支援プログラム(児童発達支援)

作成日

7年

2月

14日

法人(事業所)理念	ここへ来る「パスレル」子どもたちが豊かな環境の中で療育や遊びを通して成長・発達していくこと		
支援方針	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの「わくわく・どきどき」興味関心を大切に、「できた・わかった・みつけた」の喜びや達成感、成功体験を増やしていきながら本物を見て、触って等身近な活動体験を通し、心身の発達に繋がっていきます。 ・個々に必要な生活能力の向上のために必要な訓練を行い、「自分らしく」安心した生活が出来る地域社会と繋がる架け橋となるよう支援を行っていきます。 		
営業時間	9時30分から	18時30分まで	送迎実施の有無 あり なし
支援内容			
本人支援	健康・生活	食事・排泄・衣類の着脱・身の回りを清潔にすることなど基本的な生活習慣を身に付けられるようスモールステップで支援を行います。口腔感覚・触覚における感覚等に配慮しながら可能な限り個別の支援を行います。子ども本人が進んで行うことが出来るよう支援員と一緒に個々に応じた支援を行います。	
	運動・感覚	運動・バランス・力の強弱・距離感など様々な体の感覚・感触に触れていく中で個々の感覚の成長の支援を行います。運動遊びを通して体の動かし方使い方を学び運動する楽しさを感じ運動機能の向上につなげて行く支援を行います。感触遊び、様々な素材の感触や匂い、音などの五感を感じ想像力や思考力を養う力を支援を行います。	
	認知・行動	その日の活動を絵カードや文字にて視覚的な支援を行い、本児が情報を適切に処理し見通しを持つことで安心して過ごすことが出来るよう支援を行います。大小、数、重さ、空間、時間文字における概念の形成を図り、認知や行動として活用することが出来るよう支援を行います。少し苦手なことも頑張って課題に取り組む姿勢を養い、状況の変化・適応の難しさ等への支援を行います。	
	言語コミュニケーション	言葉や文字、指差しや、身振りサインなどを用いて自分の思いや考えを表現するコミュニケーションにおける基礎的能力の向上相手やその場に応じた適切な言葉の使い方、伝え方が出来るよう本児が理解できる方法で支援を行います。言語訓練における支援。	
	人間関係社会性	他児、支援者との関係を意識し(愛着形成)信頼関係を築く基盤として人と安定した関係を形成するための支援を行います。環境に対する安心感、遊びを通して、真似をするなど相手に興味を示し対人関係の育ち、自分に対する自己肯定感を育み、ルール遊びを通して社会性の発達の支援を行います。大人を仲介して行う運動的な遊びを通し、役割分担やルールを守って遊ぶ共同遊び集団参加、待つ、譲る、思いが通らないなどの時は本人のペースに合わせ関わり、気持ちの発散や切り替えの方法の支援を行います。	
家族支援	子育てに関する困りごと、子どもの成長、共感、確認を一緒に行います。本児の家族・兄弟に対し本児の困りごとや生活などの相談に応じ支援を行います。家庭訪問・個人面談・学校見学・病院受診	移行支援	地域交流「保育園・幼稚園・こども園・学校・学童クラブ」ライフステージの切り替え時における移行に向けた準備
地域支援・地域連携	子どもに関わる地域関係者/関係機関との連携「医療・福祉・教育・役所」相談支援事業所との連携	職員の質の向上	本児へ提供する支援の質向上をしていくため、定期的な研修「スキルアップ研修・福祉制度・虐待防止・身体拘束・災害対策・感染対策等の衛生管理・ペアレントトレーニング」等の研修を行います。
主な行事等	行事 子ども新年会・節分・お花見・七夕・ハロウィン・クリスマス会・お誕生日会・遠足・お楽しみ会・季節の制作 クッキング・水遊び・家庭菜園収穫・交流会・健康診断・お買い物学習他 防災訓練 避難訓練・消火訓練・避難場所の確認・地域防災訓練、連携訓練に参加		